

## 第3 伊賀次市総合計画策定方針（案）パブリックコメントによる反映内容

意見 No.	修正する箇所	修正前	修正後
1	2 基本的な考え方の2ページの最後に加えます。	2 基本的な考え方 こうした現状を踏まえつつ、これからも持続可能なまちづくりを進めていくために、次の4つを「基本的な考え方」として第3次総合計画を策定します。	2 基本的な考え方 こうした現状を踏まえつつ、これからも持続可能なまちづくりを進めていくために、次の4つを「基本的な考え方」として第3次総合計画を策定します。 <u>なお、あらゆる主体が共有できる分かりやすい表現に努めます。</u>
2			
6			
20	2 基本的な考え方の3ページ ②協働・共創によるまちづくりを進めますの本文に加えます。	①将来像を描きます これまでの20年間の歩みを振り返り、その成果や今後の課題を共有するとともに、統計やデータに基づいた現状分析を行い、現在の伊賀市の強みや弱みを明らかにしたうえで、これから（10年後、あるいは2050年）の伊賀市の「めざす姿」を示します。  ②協働・共創によるまちづくりを進めます 伊賀市では、総合計画を様々な主体との「協働」によるまちづくりの道標としてきました。これからもこの考え方を大切に、伊賀市の将来像を実現させるために、それぞれが今やるべきことを明らかにし、「協働」さらには「共創」による多様性と包摂性のあるまちづくりを計画的に進めます。なお、取り組みごとに適切な目標を設定し、常にその達成状況を確認することとします。  ③時代の流れを力にします 引き続き、人口減少対策に取り組めます。特に、子どもたちが将来にわたってしあわせな社会を実現させるために、少子化対策などのこども政策を総合的に進める必要があります。 また、コロナ禍を機に、新しい生活様式を確立することが求められるなど、私たちの社会は大きく変容しました。これからのまちづくりには、デジタル技術を活用して社会変革を進めることや、脱炭素社会の実現と経済成長の両立を目指すことも求められています。  ④地域の資源や特性を活かします 持続可能なまちづくりを進めていくためには、全市一体的な取り組みだけでなく、それぞれの地域の資源を活かしながら地域課題を解決することも大切です。 また、「伊賀」の特性を活かし、関係人口を含めた地域内外の多様な主体の参画や、共通の地域課題を抱える他の自治体との連携、さらには国県等との適切な関係づくりなどを進める必要もあります。	①将来像を描きます これまでの20年間の歩みを振り返り、その成果や今後の課題を共有するとともに、統計やデータに基づいた現状分析を行い、現在の伊賀市の強みや弱みを明らかにしたうえで、これから（10年後、あるいは2050年）の伊賀市の「めざす姿」を示します。  ②協働・共創によるまちづくりを進めます <u>まちづくりの主体は市民です。</u> <u>この計画に掲げる伊賀市の将来像を実現するために、情報を共有し、それぞれがやるべきことを明らかにしたうえで、「協働」さらには「共創」による多様性と包摂性のあるまちづくりを計画的に進めます。</u> <u>なお、取り組みごとに適切な目標を設定し、常にその達成状況を確認することとします。</u>  ③時代の流れを力にします 引き続き、人口減少対策に取り組めます。特に、子どもたちが将来にわたってしあわせな <u>生活を送ることができる</u> 社会を実現するために、少子化対策などのこども政策を総合的に進める必要があります。 また、コロナ禍を機に、新しい生活様式を確立することが求められるなど、私たちの社会は大きく変容しました。これからのまちづくりには、デジタル技術を活用して社会変革を進めることや、脱炭素社会の実現と経済成長の両立を目指すことも求められています。 ※文章を修正  ④ <u>地域力を高めます</u> 持続可能なまちづくりを進めていくためには、全市一体的な取り組みだけでなく、それぞれの地域の資源を活かして、課題を解決することも大切です。 また、「伊賀」の特性を活かし、関係人口を含めた地域内外の多様な主体の参画や、共通の地域課題を抱える他の自治体との連携、さらには国県等との適切な関係づくりなどを進める必要もあります。
16			

意見 No.	修正する 箇所	修正前	修正後
4	4 構成(イメージ)	<p>(4) 横断的な取り組み 現在、伊賀市では「まち・ひと・しごと創生3総合戦略」を総合計画に包含し、横断的に人口減少対策を進めています。また、国では、「デジタル田園都市国家構想4」の実現に向けた取り組みが進められており、従来の「総合戦略」についても抜本的な見直しが求められています。</p> <p>これらのことを踏まえ、第3次総合計画でも、「総合戦略」は、引き続き計画に包含することとし、デジタルの力を活用し、課題解決や魅力向上の取り組みを加速化・深化させます。</p> <p>また、各住民自治協議会と行政との連携を強化し、「地域まちづくり計画」に基づくそれぞれの地域の個性を活かした取り組みと、「総合計画」に基づく全市的な取り組みを一体的に進めます。</p>	<p>(4) 横断的な取り組み <u>10年前に策定された国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、コロナ禍による社会情勢の変化を受け、現在、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に引き継がれていることから、伊賀市でもこれまでと同様、「総合戦略」は、「総合計画」に包含することとし、引き続きデジタルの力を活用した課題解決や魅力向上に取り組み、人口減少対策を進めることとします。</u> <u>また、他の計画等についても、効率的・効果的に進められるよう体系的に整理します。</u> <u>さらに、</u>各住民自治協議会と行政との連携を強化し、「地域まちづくり計画」に基づくそれぞれの地域の個性を活かした取り組みと、「総合計画」に基づく全市的な取り組みを一体的に進めます。</p>
5			
45	5 策定体制の5ページ(5)に加えます。	<p>(5) 市民 計画の策定にあたっては、市民の意向が直接反映されるよう、十分な手段を講じます。</p> <p>① 公募委員の起用（総合計画審議会） ② 市民アンケート（まちづくりアンケート）の活用 ③ パブリックコメントの実施（中間案）など</p>	<p>(5) 市民 計画の策定にあたっては、市民の意向が直接反映されるよう、十分な手段を講じます。</p> <p>① 公募委員の起用（総合計画審議会） ② 市民アンケート（まちづくりアンケート）の活用 ③ パブリックコメント<u>やワークショップ</u>の実施など</p>